

HSK

昭和48年1月13日第三種郵便物承認 令和6年4月10日（毎月10日発行）HSK通巻番号 第625号  
編集人 帯広市公園東町3丁目9-1 一般社団法人帯広身体障害者福祉協会 TEL 0155-23-0050 「絆」第117号  
発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 定価50円

HSK

# 絆

No.117

【編集人】

帯広市公園東町3丁目9番地  
帯広市グリーンプラザ  
一般社団法人  
帯広身体障害者福祉協会  
会長 田中利和  
TEL 23-0050  
FAX 23-1452  
『絆』第116号 定価50円  
(会費に含む)  
令和6年4月

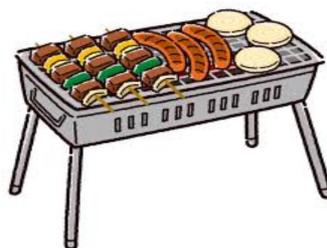
## 春の野遊会開催

5月3日（金・祝）11時  
より、緑ヶ丘公園にて田中  
会長主催の野遊会が開催さ  
れました。

30名の会員の方々が参加  
され、おいしい焼肉に舌鼓  
を打ちました。

天気は快晴でしたが風が  
強く、ビールの空き缶や、  
取り皿、割りばしが飛ぶな  
どしましたが、滞りなく終  
了する事が出来ました。

副会長の阿保さんが三味  
線の演奏を披露してくださ  
り、皆さん、演奏に聞き入っ  
ていました。素晴らしい演  
奏をありがとうございます  
た。



## 帯広身体障害者福祉協会 親睦パークゴルフ交流会開催

5月19日（日）十勝川公園パークゴルフ場にて、  
令和6年度初めてのスポーツ行事、帯広身体障害  
者福祉協会、親睦パークゴルフ交流会を開催し、  
10名の会員が参加しました。この日の予想最高気  
温は28度でしたが、飲み物とあめを用意し、水分、  
塩分補給は万全。事故もなく終了しました。

○結果は次の通り。

- |      |    |    |       |
|------|----|----|-------|
| 男性の部 | 1位 | 阿保 | 武男さん  |
|      | 2位 | 中井 | 登美男さん |
|      | 3位 | 細川 | 勝吉さん  |
| 女性の部 | 1位 | 北畑 | 佳代子さん |
|      | 2位 | 成田 | 愛子さん  |



## 令和5年度決算監査報告

○日時 令和6年4月18日（火）

○場所 グリーンプラザ A 会議室

○参加者 田中会長、成田副会長、阿保副会長、  
稲田監事、寺町監事、森山事務局長

○概要は次のとおり

1・監査の根拠となる定款24条及び37条について説明

(1) 定款24条…監事の職務内容等

(2) 定款37条…事業報告及び決算

2・公益目的支出計画の完了状況について説明

3・帯広市の委託事業について概要説明

4・貸借対照表の説明

5・正味財産増減計算書から令和5年度と4年度の事業の対比説明をする。概ね同じ水準である。

6・特別会計の説明

7・預金残高証明と通帳の写しの確認

8・決算監査内容説明後、稲田監事、寺町監事の署名

9・期末手当引当金の活用

10・決算監査終了に伴う対応

第4回理事会に決算監査の報告が必要となる。また、指ん役の大関行政書士に監査資料をメールで送り、係数確定の依頼をする。

令和5年度 第3回理事会 令和6年3月24日（日）

報告事項

報告第1号 令和5年度事業経過報告

報告第2号 令和5年度職務執行状況報告（会長・常務理事）

報告第3号 公益目的支出計画完了と今後について

報告第4号 労働基準監督署の対応について

審議事項

議案第1号 令和6年度活動方針及び事業計画（案）について

議案第2号 令和6年度収支予算（案）について

議案第3号 就業規則の一部改正

その他

1・野遊会の開催

2・令和6年度定時総会の開催方法

3・第62回北海道障がい者スポーツ大会（帯広で開催）

令和5年度 第4回理事会 令和6年4月28日（日）

報告事項

報告第1号 令和5年度事業経過報告

報告第2号 令和5年度職務執行状況報告（会長・常務理事）

審議事項

議案第1号 令和5年度活動報告及び事業経過報告について

議案第2号 令和5年度収支決算報告及び監査報告について

議案第3号 期末手当引当金預金の活用について

その他

1・令和6年度定時総会議案書（案）

2・全道身体障害者福祉大会 弟子屈大会について

3・第62回北海道障がい者スポーツ大会について

# スポーツご案内

屋外でのスポーツ交流会が始まります。異常な暑さの日もあるかと思いますので、体調にはくれぐれもお気をつけて、ご参加ください。

○申込先  
 分会の方・分会長へ  
 個人の方・事務局へ  
 ○事務局

Tel 23-0050  
 Fax 23-1452

## 第2回ゲートボール交流会

○日時 6月16日(日)  
 ○時間 午前9時～11時まで  
 ○場所 緑ヶ丘公園GB場  
 (緑ヶ丘公園)  
 ○締切 6月7日(金)まで

## 第1回パークゴルフ交流会

○日時 6月23日(日)  
 ○時間 午前9時～11時まで  
 ○場所 緑ヶ丘公園PG場  
 (緑ヶ丘公園)  
 ○締切 6月14日(金)まで



## 第3回ゲートボール交流会

○日時 7月7日(日)  
 ○時間 午前9時～11時まで  
 ○場所 緑ヶ丘公園GB場  
 (緑ヶ丘公園)  
 ○締切 6月28日(金)まで

## 第2回パークゴルフ交流会

○日時 7月21日(日)  
 ○時間 午前9時～11時まで  
 ○場所 十勝川公園PG場  
 (帯広市東3条～東5条北2丁目地先)  
 ○締切 7月12日(金)まで

## 第3回パークゴルフ交流会

○日時 8月4日(日)  
 ○時間 午前9時～11時まで  
 ○場所 緑ヶ丘公園PG場  
 (緑ヶ丘公園)  
 ○締切 7月26日(金)まで

## 第4回ゲートボール交流会

○日時 8月25日(日)  
 ○時間 午前9時～11時まで  
 ○場所 緑ヶ丘公園GB場  
 (緑ヶ丘公園)  
 ○締切 8月16日(金)まで

## 冬季スポーツ交流会総集編

### ボッチャ・ゲート・7回カーリング



# 婦人部総会開催

令和6年4月24日(水)グリーンプラザにて開催され、婦人部会  
員22名が参加いたしました。  
令和5年度報告事項、令和5年  
度審議事項が報告どおり承認され  
た事をご報告いたします。



# 婦人部視察研修のお知らせ

来る7月25日(木)土幌・上  
士幌方面へ婦人部視察研修を予  
定しております。昨年同様、福  
祉バスを利用します。詳細が決  
まり次第、ご連絡いたします。  
皆さんの会員の参加を  
お願いいたします。

# 自動販売機をご利用の際は 当協会の自販機を!

グリーンプラザに自販機が3  
台並んでいます。真ん中のK  
IRIN(キリン)が当協会の自販  
機です。飲料水をお買い求め  
の際はKIRINをご利用いただき、  
売り上げにご協力を。



# 会費納入のお願い

令和5, 6年度の会費が未納の方、  
納入はお早めに事務局まで納  
入をお願いいたします。

# お知らせ

8月18日に開催予定の福祉大  
運動会は中止になりました。

# 編集後記

続シヨパン

6月11日(火)オール・シヨパン・プログラムによるポーランド出身の新進  
気鋭のピアニストによるコンサートがとかちプラザで開催される。この時期  
の恒例となった行事で、新得町出身の及川光悦氏が大きな役割を果たしてい  
る。7年前のコンサート内容的印象等について「編集後記」で記載したが、  
その後の東欧の変化はめまぐるしいものがある。

平成29年9月7日、とかちプラザ「レインボーホール」で開催された  
「障害者週間」の東欧音楽家支援ピアノ演奏会は、久しぶりに生演奏を  
聴く機会であった。シヨパンの曲を聴くと、繊細なイメージばかりで  
なく、情熱的な曲も多くある。また演奏中、母国であるポーランドの  
第2次世界大戦前のことが想起された。

●1939年9月1日、ワルシャワゲットー、地下水道、WPO等。

●2022年2月のロシアによるウクライナ侵攻はまさかと思われたが、現在  
も戦いが継続している。ウクライナの隣国のポーランドは避難民の受  
け入れなど大きな役割を果たしている。その一方、今回の侵攻は、ヨー  
ロッパに大きな衝撃を与えた。特にポーランドはロシアと陸続きであ  
り、次は自分の番ではないのかと、韓国から大量の兵器を購入し、ヨー  
ロッパ有数の強国を目指している。

●ポーランドはいつもの時代、大国の狭間で大きな影響、侵略による国  
土の分割・合併が日常的に行なわれた。シヨパンも故国を離れ、支配  
する列強への反発心は若い頃から強く「美しい花畑の中に大砲が隠さ  
れている音楽」と評された。陸続きの小国に生まれた偉大な作曲家・  
ピアノリストである。

●平和が叫ばれるが、自国を守るにはそれなりの備えが必要である。戦いは起  
こさないことが極めて大事である。ただ、いったん始まると行き着くところ  
までいかに決着がつかない。そのためにも起こさないための「抑止力」  
が必要だ。「抑止力」とは一寸法師が鬼と戦ったとき使用した「針」である。

M・M記

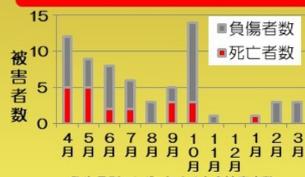


晩年のシヨパン

# 春はヒグマに注意

人身被害は春と秋に多く発生

被害の1/2は山菜・キノコ採りで発生



## 春のヒグマ注意特別期間

令和6年 4月1日(月)～5月31日(金)

あなたが被害者にならない一番の方法は  
**ヒグマに遭わないこと**です

- 食べ物やゴミは必ず持ち帰る
- 一人では野山に入らない
- 野山では音を出しながら歩く
- 事前にヒグマの出没情報を確認する
- 薄暗いときには行動しない
- フンや足跡を見たら引き返す

※ 人里周辺などでヒグマを自撃したときは、市町村役場または警察に通報ください。

北海道環境生活部

### 熊に遭遇した時の対策

- ◆驚いて大声を出さない◆  
突然大きな音をたてると熊も驚き、逆に身を守ろうと襲いかかって来ることがあります。悲鳴はぐっと我慢して、冷静に。
- ◆走って逃げない◆  
熊は逃げるものを追いかける習性があります。熊が本気を出せば人間よりも足が速いので、走ってもかきません。熊の方を向きながら、ゆっくりと後ずさりして、その場を離れてください。
- ◆死んだふりをしない◆  
雑食性の熊は、死んだ魚や動物を食べることがあります。倒れて死んだふりをしていると、かえって熊が興味を持って近づいてきてしまう可能性があります。
- ◆熊撃退スプレーを使う◆  
熊と遭遇してしまった場合の撃退用として「熊撃退用スプレー」というのが市販されています。万が一遭遇した場合、風向きに注意して、熊の顔に向けてふきかけます。

### 有害植物による食中毒に注意しましょう

◆近年のアウトドアブームや自然食嗜好により、多くの人々が山菜採りを楽しむようになってきました。雪がとけ、新緑が芽生えるこの時期、連休などを利用して野山の恵みを探す人も多いのではないのでしょうか。

野草の中には、山菜と間違えて食べることで食中毒の原因となる有害植物があります。正しい知識を身につけて食中毒を防ぎましょう。

◆食べられるか判断のつかない山菜は絶対に

- 採らない 食べない
- 売らない 人にあげない

山菜と有毒植物が混生することがあるので、採るときは一本一本よく確認してから採るようにし、調理前に再度確認しましょう。

食べて異常を感じたときは一刻も速く医師の診断を受けましょう。人にあげた場合は、そちらにも確認してください。



ギョウジャニンニクの葉

イヌサフランの葉



- ・一株から1～3枚の葉が出る。
- ・葉は根元に向かって細くなる。

- ・多数の葉が重なって出る。
- ・葉は根元で細くならない。
- ・葉は夏には枯れる。

# 第62回北海道障がい者スポーツ大会

## 帯広十勝で開催

令和6年9月29日（日）第62回北海道障がい者スポーツ大会が帯広・十勝で開催されます。

この大会の目的は、身体障がい者及び知的障がい者がスポーツを通じて 体力を維持・増進し、障がい者の自立と社会参加の促進を図るとともに、道民の障がい者に対する理解を深め、本道における障がい者のスポーツをより発展させる事です。

当協会からは、帯広の森陸上競技場で行われる陸上競技の競走・跳躍・投てきから1種目に参加できます。

地元の帯広で開催されますので、出来ればたくさんの方の会員の皆さんの参加をお願いします。

競技に参加されない方も 競技場にお越しいただき応援をお願いします。



### 十勝毎日新聞の取材

令和6年3月6日、グリーンンプラザにて、十勝毎日新聞社・菊地青葉記者より、障がい者の災害時の避難について取材を受けた。当方からは、田中会長、阿保副会長、鈴木理事（十勝視覚障がい者の会代表）、久保くるみの会代表、森山事務局長が参加。  
内容は令和6年3月10日の勝毎…視点もつとTOKACHIに掲載されている。

●取材の主旨は、元旦に発生した能登半島地震において障がい者の支援に手が届かず困難を極めた。帯広身障協会に伺いたい。

●鈴木理事から地震等の災害発生時には自力で避難できない発言がある。また1次避難所に避難できても、集団の中で行動することが困難だ。

●能登半島地震で現地調査を行った同志社大学社会学部に立木教授によると「避難所生活が困難だとしてそもそも避難しない障がい者が多い」と指摘。また開設できた福祉避難所は想定定の2割程度。

に入るまで1次的に被災者を受け入れる1.5次避難所を開設。実際、施設ごと1.5次避難所に入ったケースもある。一方、1.5次避難所に来る人は普段からサービスを使っている人などに声をあげてもらった人。自力で生活している障がい者などは調整してくれる専門家がいなのが現状。

●帯広市危機管理課は策定が進まない背景として受け皿が少ないことをあげる。計画は町内会などがつくる個別計画作成協議会があるのは753町内会のうち13、連合町内会47のうち11にとどまる。同課は町内会の高齢化、人の命を預かる責任の重さが影響しているのではと推測する。

30町内会を有する広陵連合町内会では、グループでの支援、両隣の住民が協力して対応など、柔軟に支援の在り方を検討してきた。

●平時の在宅生活を可能にする福祉の環境づくりと災害時の緊急対策につなげ、普段、福祉サービスを利用していない当事者、家族が取り残されない地域づくりが求められる。